セキュリティソフトウェア　USB Flash Disk フォーマットツール使用説明

USB Flash Disk フォーマットツール（以下「FORMAT.EXE」）を使用するとフラッシュドライブにパスワードで保護されたセキュリティエリアを設定することができます。

対応環境

・Microsoft Windows ME、2000 Professional、Windows XP Home & Professional、Windows Vista（32bit 版）
（Windows 2000、XP、Vista は管理者権限でのログイン時に限る）
・USB ポート標準搭載の機種

制限事項

・フラッシュドライブは FAT でご使用ください。（NTFS に再フォーマットされたフラッシュドライブは本ソフトウェアのサポート外となります）
・非管理者権限（制限ユーザー）でログイン中は、本ソフトウェアは動作しません。
・フラッシュドライブをパソコンから取り外す際はタスクトレイの「ハードウェアの取り外し」を行ってください。
・セキュリティソフトをご利用になる場合は’FORMAT（.EXE）’およびセキュリティ設定時フラッシュドライブに保存される’LOCK（.EXE）’ ファイルは削除しないでください。
（セキュリティソフトをご利用にならない場合は、事前に’FORMAT（.EXE）’および、本取扱説明書ファイルを削除されると、ドライブの記憶容量が増加します。削除後に必要となった場合、ソフトウェアおよび本説明書ファイルは、弊社 Web Page からダウンロードすることも可能です。）

免責事項

・本ソフトウェアの使用によるデータの喪失、破壊については弊社は一切の責任を負いません。
・本ソフトウェアの使用による二次的な損失（利益機会の損失や復旧等にかかる損失など）については責任を負いません。
・全ての対応環境での動作を保証するものではありません。
・ソフトウェアのバージョンアップなどにともない、説明書内の画面表示と実際の画面表示が異なる場合があります。

FORMAT.EXE の使用

FORMAT.EXE を使用しますとフラッシュドライブにパスワードで保護されたセキュリティエリアを設定することができます。フラッシュドライブ全体をセキュリティエリアに設定することも、一部容量をセキュリティエリアに設定することも可能です。

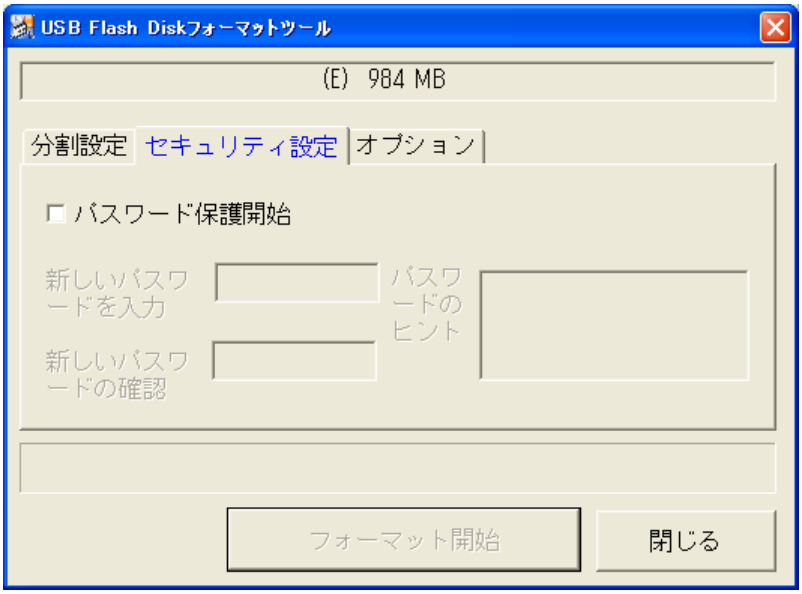
一部容量をセキュリティエリアに設定した場合は、残りの容量はパスワード認証無しに自由にデータの書込み、読出しが行える通常エリアとなります。
セキュリティエリアと通常エリアは切り替えて使用するため、同時に使用することはできません。

1. 初期設定

（1）フラッシュドライブをパソコンに接続し、「FORMAT（.EXE）」を実行すると下記初期設定画面が表示されます。（一部実際の画面と異なる場合があります。また、「FORMAT.EXE」ファイルはコンピュータの設定により「FORMAT.EXE」と表示される場合と「FORMAT」と表示される場合があります。本説明書ではこれらを合わせて「FORMAT（.EXE）」と記載します。）

（注）本ソフトウェアは、フラッシュドライブの外部にコピーして実行することも可能ですが、ドライブが接続されていないと下記警告が表示されます。

（2）「セキュリティ設定」のタブをクリックして開きます。

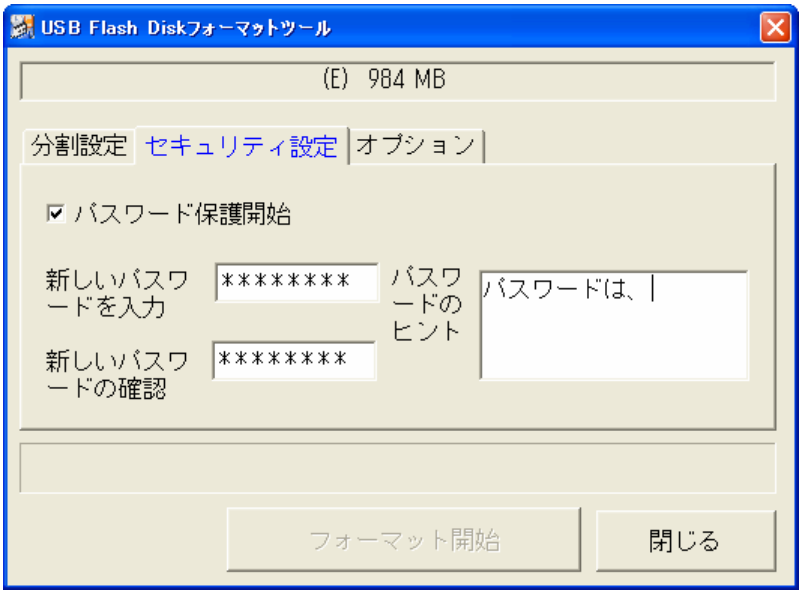


（3）「パスワード保護開始」にチェックを入れるとパスワードおよびパスワードのヒントが入力可能になります。

・「新しいパスワードを入力」：パスワードを半角英数の6～8文字で入力してください。

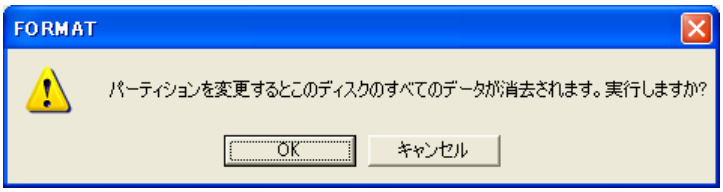
・「新しいパスワードの確認」：確認のため同じパスワードを再入力してください。

・「パスワードのヒント」：パスワードを思い出しやすいように、任意の文章を入力することができます。
「パスワードのヒント」はログイン時に常に表示されますので、第三者にパスワードを連想させるような文章の入力は避けてください。



（4）「セキュリティ設定」の入力が完了したら、「分割設定」のタブをクリックして開きます。スライドつまみを左右にスライドさせて、「フリー領域」と「セキュリティ領域」の容量を設定します。（下図は1GB のフラッシュドライブに 400MB のセキュリティエリアを設定する場合です）

（5）「フォーマット開始」をクリックして、セキュリティ設定を行います。データの消去に関する警告が表示されますので、このままフォーマットを行う場合は、「OK」をクリックします。



重要

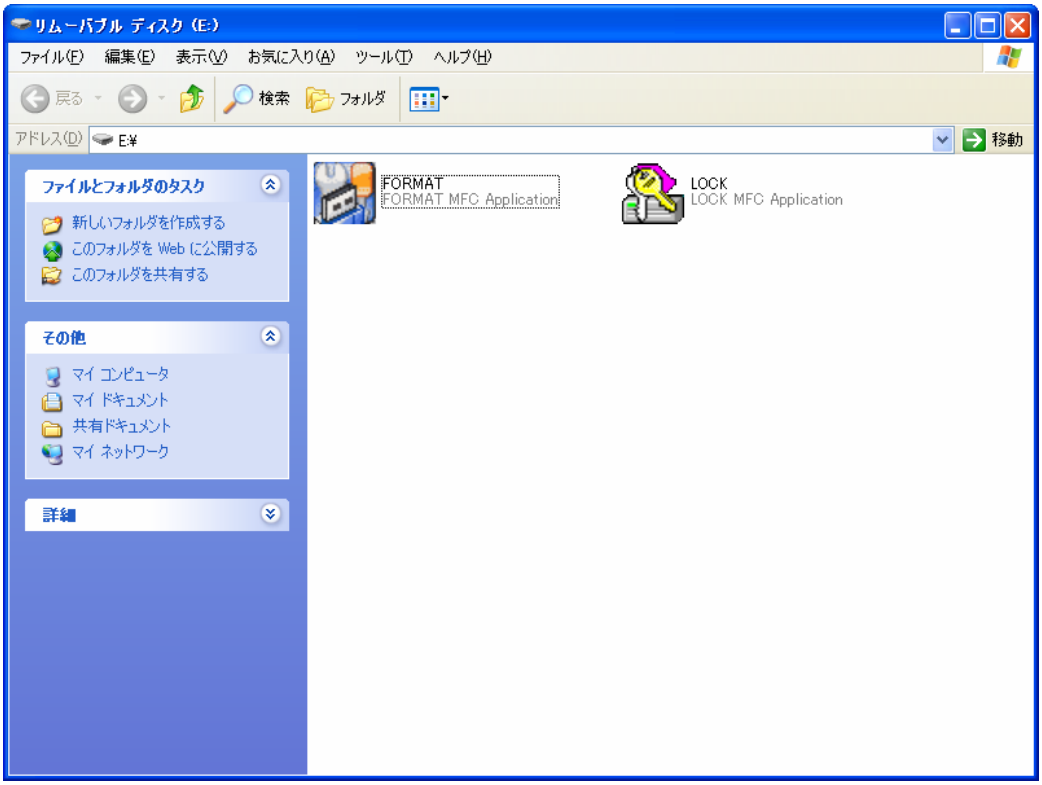
セキュリティ設定を行うためには、フラッシュドライブを再フォーマットする必要があり、フラッシュドライブ内の全てのデータは消去されます。フラッシュドライブ内に必用なデータが残っている場合は、「キャンセル」または「閉じる（X マーク）」をクリックして作業を中断し、必要なデータを別の場所に保存してから設定を行ってください。

ここで設定したパスワードを失念されますと、セキュリティエリアからのデータの読み出しや、セキュリティエリアへのデータの書込みが行えなくなります。パスワードを解除する方法はありませんので、パスワードの設定と管理には十分ご注意ください。（パスワードを失念された場合、セキュリティエリアの全データを破棄し、初期状態にすることは可能です）

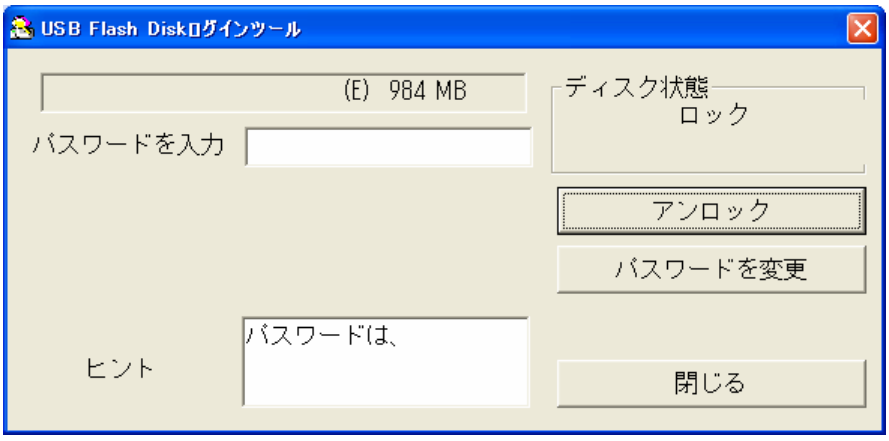
（6）下記メッセージが表示されたら「OK」をクリックして初期設定を完了させます。

2. ログイン

（1）初期設定の完了したドライブには、ログインのためのソフトウェア（ファイル名「LOCK（.EXE）」がコピーされています。フラッシュドライブをダブルクリックして開き、「LOCK（.EXE）」をダブルクリックして起動します。



（2）下記画面が表示されるので「パスワードを入力」のフィールドにパスワードを入力し、「アンロック」をクリックします。

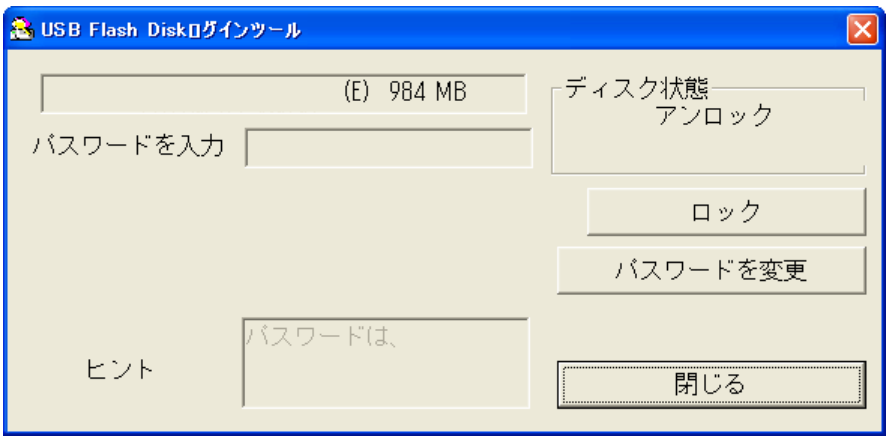


正しいパスワードが入力されると、フラッシュドライブのセキュリティエリアへの書込みや、セキュリティエリアからの読み出しができるようになります。（通常エリアは使用できなくなります。）

3. ログアウト

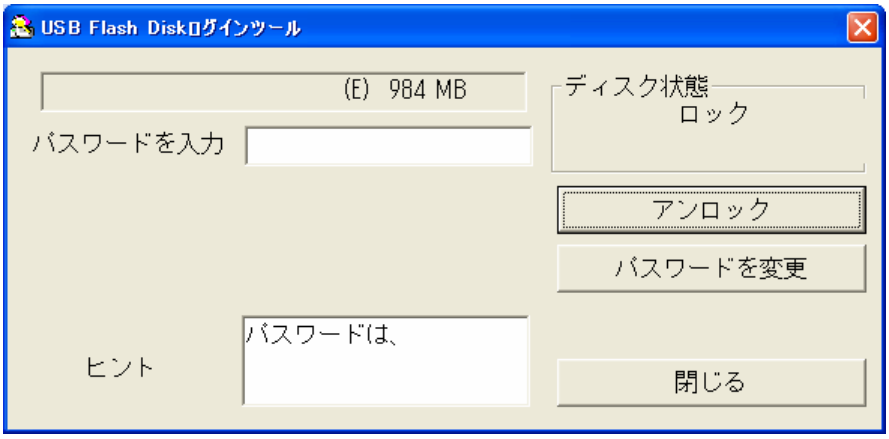
（1）セキュリティエリアにログイン中は、タスクトレイ上に USB Flash Disk ログインツールのアイコンが表示されます。

（2）タスクトレイ上の USB Flash Disk ログインツールアイコンをダブルクリックして下記画面を起動し、「ロック」をクリックします。

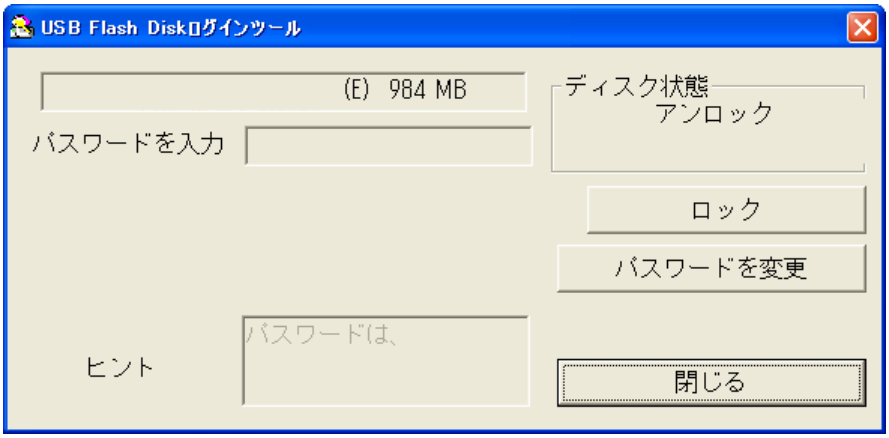


4. パスワードの変更

セキュリティエリアにログインしていない場合は「LOCK（.EXE）」をダブルクリックして下記画面を起動します。



セキュリティエリアにログイン中は、タスクトレイ上の USB Flash Disk ログインツールアイコンをダブルクリックして下記画面を起動します。



（1）上記画面の「パスワードを変更」をクリックすると下記画面が表示されます。

・「現在のパスワード」：現在のパスワードを入力してください。

・「新しいパスワードを入力」：新しいパスワードを半角英数の6～8文字で入力してください。
・「パスワードの確認」：確認のため新しいパスワードを再入力してください。
・「ヒント」：パスワードを思い出しやすいように、任意の文章を入力することができます。
「ヒント」はログイン時に常に表示されますので、第三者にパスワードを連想させるような文章の入力は避けてください。

（2）入力が完了したら「適用」をクリックします。下記画面が表示されたら、「OK」をクリックして終了します。

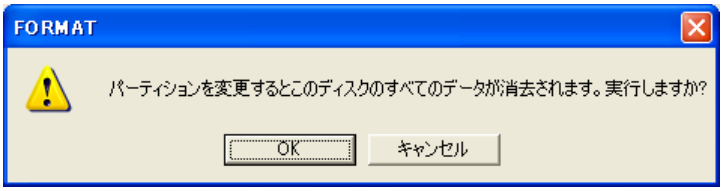
5. フラッシュドライブの初期化

セキュリティエリアを完全に開放し、初期化するためには USB Flash Disk フォーマットツール（「FORMAT（.EXE）」）を使用します。

重要
初期化を行うとフラッシュドライブ内の全てのデータは消去されます。フラッシュドライブ内に必要なデータが残っている場合は、「キャンセル」または「閉じる」をクリックして作業を中断し、必要なデータを別の場所に保存してから設定を行ってください。
パスワードだけを解除し、セキュリティエリアのデータを取り出す方法はありません。

（1）初期化するフラッシュドライブをパソコンに接続してから「FORMAT（.EXE）」をダブルクリックして起動します。「セキュリティ領域」が「0MB」となっていることを確認してから、「フォーマット開始」をクリックします。

（2）下記警告が表示されるので「OK」をクリックします。



（3）下記メッセージが表示されたら「OK」をクリックして初期設定を完了させます。